

△使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他の鎮咳去たん薬、かぜ薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗り物酔い用薬、アレルギー用薬、催眠鎮静薬等）、鎮静薬



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (4) 次の症状のある人。
高熱

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
呼吸器	息苦しさ、息切れ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3.5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

デキストロメトルフアン製剤でアレルギー症状をおこしたことがある人が、再度服用すると、ショック（アナフィラキシー）⁶⁾の重篤な副作用を生じることがあるので、服用できません。用語解説 6) 参照

併用すべきでない一般用医薬品の薬効群を記載しています。併用した場合には医薬品の作用の増強、副作用の増強等が考えられます。

他の鎮咳去たん薬、かぜ薬などでは、本剤と重複した成分を含んでいることが多く、併用による危険性が考えられます。本剤を服用している間は、これらの医薬品を服用できません。

共通事項解説〔3〕参照

共通事項解説〔4〕参照

共通事項解説〔5〕参照

高熱のある人は、他の疾患に罹っていることも考えられるので、本剤を服用前に医師の診療を受けるなど医師、薬剤師または登録販売者に相談することが必要です。

本剤の服用により、人によってはこれらの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には服用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

本剤に配合されているデキストロメトルフアンフェノールフタリン塩に類似の製剤でまれにショック（アナフィラキシー）⁶⁾の報告があります。これらの症状が認められた場合は直ちに服用を中止し、早急に医療機関での適切な処置をとることが必要です。

用語解説 6) 参照

5～6回服用しても症状がよくなる場合は、他に原因があることも考えられます。症状がよくなるまま服用を続けると悪化することも考えられるため、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

＜用法・用量に関連する注意＞

(1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

共通事項解説〔6〕参照

(2)用法・用量を厳守すること。

共通事項解説〔7〕参照

(3)トローチの取り出し方

図のようにトローチの入っているPTPシー
トの凸部を指先で強く押し、裏面のアル
ミ箔を破り、取り出して服用すること。



(誤ってそのままのみこんだりすると食道粘
膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。)

共通事項解説〔8〕参照

保管および取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に箱に入れて保管すること。

共通事項解説〔9〕参照

(2)小児の手の届かない所に保管すること。

共通事項解説〔10〕参照

(3)他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質
が変わる）。

共通事項解説〔11〕参照

(4)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

共通事項解説〔14〕参照

(5)箱の「開封年月日」記入欄に、内袋（アルミの袋）を開封
した日付を記入すること。

共通事項解説〔15〕参照

(6)一度内袋（アルミの袋）を開封した後は、品質保持の点か
ら開封日より1ヵ月以内を目安になるべくすみやかに服用
すること。

共通事項解説〔16〕参照

(7)内袋（アルミの袋）の中の乾燥剤は服用しないこと。

この乾燥剤は主成分が合成ゼオライトです。これは吸湿のほか、袋の中の酸素・窒素も吸着します。また、経口摂取した場合の安全性はシリカゲルより高くなっています。

急性毒性LD₅₀ (mg / kg、マウス、経口)
本乾燥剤9300以上、シリカゲル3000以上

ヒトでは相当な枚数を食べない限り、問題ないと思われ
ます。毒性よりもむしろ、のみ込んだときに「のど」につま
らせたりしないよう特に乳幼児やお年寄りの誤飲に注意が
必要です。

*LD₅₀：その用量で投与した動物の半数が死亡する用量をいう。